

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○「話すこと、聞くこと」と選択式の問題は全国と比較してよくできている。 ●「書くこと」と「短答式」の問題にやや課題がみられる。 ●読み手の立場に立って、表記や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がみられる。	・読み手に分かりやすく伝わるように文章を推敲する活動を取り入れる。その際、互いに書いた文章を読み合ったり、コメントをし合ったりするようにする。 ・実用的な文章を書くことについて、次のことに注意して指導する。 ・読み手は様々な立場にあたり、様々な考えをもっていたりすることを意識させる。 ・読み手や状況に応じて、必要な内容を精査することを意識させる。
数学	○基本的な数学の知識があり、数学用語の意味を正しく理解し、問題を解くことができています。 ●記述で答える問題にやや苦手がみられる。 ●式を読み取る力や自分の考えを数学的に表現する力が弱い。	・解答までの道筋がイメージしにくい問題も経験させながら、1次関数への理解を深める。 ・抽象的な事象を表現した問題文を読み、理解したことを数式に表す時間を積極的に設ける。
理科	○実験の振り返りを、科学的な見方・考え方に基づいて文章で記述する力がついている。 ●2つの液体の違いを調べるための適切な方法を判断する際に、必要な知識は身につけているものの、それをもとにして実験計画を立てる力には課題がみられる。	・引き続き、科学的な視点を元に授業内容を振り返る時間を確保する。 ・記述が苦手な生徒に対しては、科学的な思考に基づいて振り返ることができた生徒の振り返りを紹介するなど適切な支援を行う。 ・生徒が自分で実験方法を考え、実験計画を立てる活動を増やす。

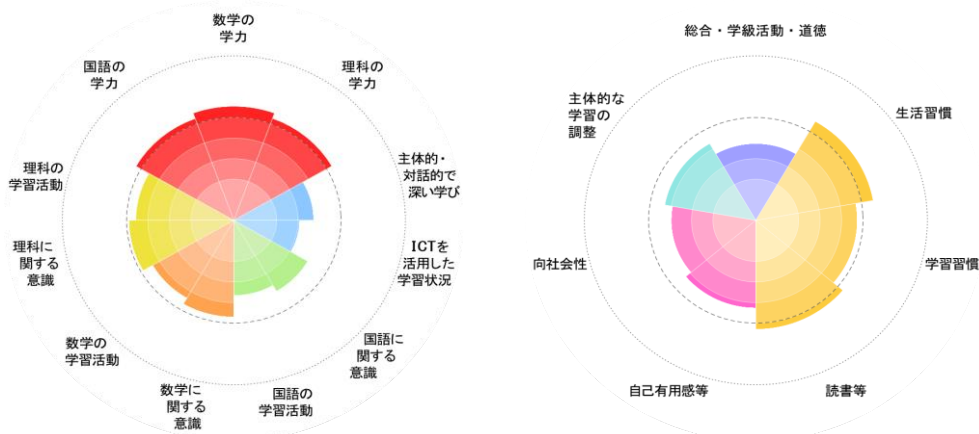
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○朝食を食べることや決まった時間での就寝はよい傾向にある。 ●他者や社会に対する関心や奉仕する心に課題がある。 ●将来の夢や目標をもっている生徒の割合が低い。	・「こころ♡ほっとタイム」(人と関わる力を育てるプログラム)の実施や教育相談を継続し、人との関わりを深めていく。 ・道徳の時間を充実させ、広い視野を持ち自分とは異なる立場からの考えを理解できるようにする。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・「こころ♡ほっとタイム」や教育相談を継続し、人との関わりを深めていく。 ・ICTを効果的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに取り組む。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

254 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

